

大宮公園小動物園 編1 vol.005

大宮図書館

繭乃仲だより

インタビューに
こたえてくださったのは…



係長 和久井洋平さん



獣医師 佐藤亜里沙さん

この小動物園ができたきっかけはなんですか？

わ：もともとは、埼玉県の知事へ北海道から贈られた、ヒグマを展示するために作った動物園なんです。ヒグマをこちらの動物園に迎え入れる様子が写真で残っています。園内入口に、詳しい経緯を看板で紹介しています。

私がここに来たばかりの時は、看板や動物紹介の掲示物が全く無かったんです。動物園としてこれでは…ということで、一から看板などを手作りしました。今も園内の制作物は我々飼育員が協力して作っています。



おふたりはそれぞれどのようなお仕事をされているのですか？

わ：飼育作業や園内の整備、SNSの更新など、基本的には職員みんなで分担しておこなっています。職員の仕事管理は、私がおこなっています。

さ：普段は飼育作業を行いながら、動物たちになにかあったときには、獣医師としてお仕事をしています。

どのような経緯でこのお仕事に？

わ：最初は、東松山にあるこども動物自然公園のアルバイトとして働き始め、その後、この動物園の職員になりました。

さ：もともと獣医師を目指して勉強をしてきました。昨年秋にこちらの動物園へきたのですが、ここへ来る前は、違う動物園で獣医師として働いていました。

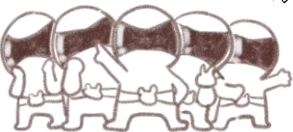


大宮に暮らす人々にとって、いちばん身近な動物園。今回は、大宮小動物園で働く飼育員さんに、インタビューをしてきました。

職員の方は何人いますか？

わ：5人です。少ない日は、2人で仕事を回すこともあります。

少人数精鋭で動物園の運営をしている大宮小動物園の飼育員さんたちのまるでレンジャーヒーローです。



お仕事の様子がいいんですか？

わ：飼育作業はもちろん楽しいのですが、動物舎を眺めて、こうしたらもっとよい見え方がするんじゃないかと考えながら止まり木を組んだり、動物舎の環境作りをすることが楽しいです。自分が組んだ止まり木に動物が止まったり登ったりしていると、ヨシ！と嬉しくなるし、逆に全然使われずに、あれ…？とガツカリしたり。園内の看板なども手作りの仕事にもやりがいを感じています。

さ：動物たちにはいつも健康でいてほしいと思っているので、来園されたお客さんたちに、動物たちの元気で自然な姿を見てもらえたら嬉しいです。日頃から体調変化にすぐ気が付けるように気を配っていますが、有事の際にはすべての種類の動物を診ないといけないことが大変です。からだの作りも違うし、薬もあげてよいものが違うので…。

動物たちが元気かどうかは、どのようにチェックするのですか？

わ：まず動物は、野生動物と家畜動物に分けることができます。家畜動物は、ケガをしたときはこちらに分かるようにアピールしてくれるんですが、野生動物はケガしていることを隠そうとするので、注意が必要です。見れば見るほど隠すので、動物舎の掃除やお世話のときに、動物の様子を横目で盗み見て観察したり、餌や水の減り方、部屋の様子などから、違和感を見つけています。定期的に他の動物園と集まりがあるので、同じ動物の担当者に相談もします。昔、先輩からは、獣医師が動く前に動物たちの体調に気づくように、とよく言われました。

さ：野生動物は、犬や猫のように気軽に身体に触ったりすることができません。そのため、普段の飼育作業の中で、動物たちのわずかな変化にどれだけ気付けるかが重要になってきます。もし病気の動物がいたときには、人間のように糞便検査をしたりします。



好きな動物はなんですか？

わ：爬虫類、猛禽類が好きです！ポールニシキヘビは、私が飼っていたヘビをつれてきました。

さ：どの種類が好きと言うよりは、めっちゃ小さい動物と、めっちゃ大きい動物が好きです！ハムスターなどの小さい生きもののかわいい手を見たりして、すごい！と思ったり、逆にサイとか大きな動物のからだをみて、感動したり。



大宮の好きなところはありますか？

わ：私は地元が大宮なんですが、車で電車でも、アクセスがよいところが気に入っています。

さ：私は高校が大宮のほうだったので、思い入れがあります。高校生の時に、この動物園に来たこともありますが、お買い物場所が充実してるところが好きです。

飼育員さんの1日

- 8:30 始業
動物たちの朝ごはんづくり
担当の動物舎へ
動物たちを部屋から出す
部屋のお掃除
動物たちの健康チェック
朝ごはんをあげる
- 10:00 開園！
- 11:00 夕ごはんづくり
- 12:00 お昼休憩
園内の看板は、飼育員さんたちの手作り！メンテナンスもこの時間に。
- 13:00 事務仕事(消耗品や餌の発注)
園内の整備
看板や動物舎内の整備、作成
- 16:00 閉園
動物ごとに飼育ノートがある！
- 17:00 片付け
物の飼育ノートなど記録

仕事場見学!

園内には、動物舎以外の建物もあります。
普段は一般の人が入れない部屋をのぞいてみると…?

調理室

動物たちのごはんを作る場所です。調理室内でまず目を引かれたのは、大きな冷蔵庫! たくさんの食べ物が種類ごとに分けられたボックスも。ごはんは、野菜、肉、魚など基本的には買っていますが、大宮公園内の葉っぱやドングリも、動物たちのごはんになっています。自然のものをごはんとしてあげるの、動物園あるあるみたいです。



飼育事務所

資料作りや他の動物園との連絡業務、動物たちの飼育記録作成など、事務作業はここでを行っています。SNSの発信も大切なお仕事です。



検査舎

体調の悪い動物が入院するための場所です。他の施設からお引越してきた動物は、糞便検査などを行います。顕微鏡もあるので、菌を見ることもできます。必要な場合は、検査会社へ送って詳しく調べます。今は鳥インフルエンザの予防のため、園内の鳥たちがここに避難しています。室内の様子をご提供いただきました。



動物舎も検査舎も、冬はヒーターがあるので、あたたかい!

制作作業場

園内にある動物の解説や楽しいクイズ、名前の看板。実は、和久井さんたちの手作りです。何か作るときは、この作業場で制作をしています。



おふたりのとっておきの本

和久井さんのとっておき

『フィールドガイド 日本の野鳥』
高野伸二・著
日本野鳥の会 1982年



猛禽類ばかりに夢中でほかの鳥には興味がないことを当時の上司から叱られ、動物園人として必ず持っていないと、と勧められた本です。日本で見られる野鳥すべてが載っています。普段は双眼鏡と一緒に、車に乗せています。

佐藤さんのとっておき

『哺乳類のフィールドサイン 観察ガイド』
熊谷さとし・著
文一総合出版 2011年



足跡の写真や、糞から動物を見分けるヒントなどが載っています。動物園外でこういう本を持っていると、足跡や糞の特徴を見て、このあたりにはこんな野生動物がいるんだ、と分かるのが面白いです。

繭乃仲編集長は見た!!



シシオザル。顔周りのたてがみだけでなく、しっぽもライオンみたいでカッコいい。



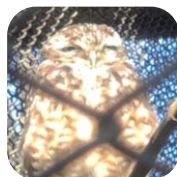
ぽかぽかの陽ざしを浴びてのんびりしているプチハイエナ。



葉っぱを握りしめるフサオマキサル。



水を飲んでるのかな? 寝てるのかな? しずかなカピバラ。



アナホリフクロウ。キリッとしていたお顔が眠たげに。



大宮公園小動物園
〒330-0803
さいたま市大宮区高鼻町4

開園時間: 10:00-16:00
休園日: 月曜日、年末
月曜日が祝日の場合は
翌火曜日
アクセス: 大宮駅から徒歩25分/
大宮公園駅から徒歩10分

昭和28年(1953年)4月に開園。埼玉県内で初めてできた、歴史ある動物園。昭和55年に開設された東松山にあるこども動物自然公園とは姉妹園のようなかたちで運営している。



飼育員さんの様子を気にしてそわそわ歩いているツキノワグマのヨリー。



クビワベッカリー。ベッカリーの和名はヘソノシシ。寄り集まって暖をとっている。かわいい。

